

R4 (2022) 年度 修士論文

1	栗田真帆	被災地支援での恩送りを支える感情—感謝と負荷感に着目して—
2	井原嘉之	チャットボットの機能認知に関する研究：悩みを開示する相手として
3	加藤由衣	How evaluation and causal attribution affect paternity leave in Japan —評価と原因帰属が男性の育児休業取得に及ぼす効果—
4	高橋孝太郎	自己制御と利他性の共通基盤の探索—遅延割引と社会割引課題を用いて—
5	高橋茉優	世代を超えた協力を作るには？—後続世代の存続に着目して—
6	森隆太郎	離れうることは集まることをたすけるのか？—ゲーム実験を通じた検討—